



株式会社 夕カサキ

人を見つめて。
暮らしのとなりに。

人々の健康な暮らしに
不可欠な存在として機能していきたい。

『くすり』を通して社会に貢献する、くすりのプロ。
患者さんのための一歩進んだ医薬分業をめざし、九州を中心に山口・島根で店舗展開しています。

株式会社タカサキは1979年5月の設立以来、タカサキグループとして本店を北九州に置き、福岡・大分・山口・熊本・島根県内にて複数の薬局を通し、地域医療の進展に努力しております。さて、21世紀を迎えた今、医療は将来に向けて、さらに大きく変わろうとしています。高齢化社会、医療保険制度等、多くの問題点、課題が残っています。長年医薬分業に取り組んでおりますが、我々に求められているのは、患者さんの立場に立った服薬心理の研究、安全で有効な薬物療法の啓蒙、医師への的確な情報提供、さらにプロの薬剤師として、地域住民の方々からこの街にあの薬局が、あの薬剤師がいて本当に良かったと言われるよう努力することではないかと考えています。私たちタカサキグループは、調剤と服薬指導を通して患者さんとのコミュニケーションを図り、患者さんのための一歩進んだ医薬分業をめざし、今後も努力していきたいと思っております。『くすり』を通していかに社会に貢献すべきか、それがタカサキグループがめざすテーマです。



株式会社タカサキ
代表取締役社長
高崎 政弘

■ タカサキグループ



国民医療費の抑制や医薬品の適正使用を推進する医薬分業政策に脚光が集まっている昨今。(株)タカサキでは、こういった医薬分業時代の到来をチャンスと捉え、(株)K・C・P、(株)M・T・P、(株)F・C・Pなどのグループ企業とともに、ウェルネスビジネスを積極的に展開しています。すなわち、健康で安心できる暮らしの創造という薬局としての使命を究めるとともに、病気予防情報の発信やサービスの充実といった付加価値の追求により、地域社会のトータルな健康づくりに貢献し毎日の暮らしに不可欠なコミュニティファーマシーとしての存在を確立することそして、その延長上にあるビジネスチャンスに果敢にチャレンジをし続けているのです。



タカサキはチーム医療の一翼を担い、
地域の人々との信頼関係を大切に
独自の新しいスタイルの構築に力を注いでいます。

- Check 1 処方箋チェック**
調剤薬局が処方箋を受けた場合、その処方箋は保険法規的な面と薬剤学的な面の両面から必ずチェックする必要があります。こうした体制により、お客様のいっそうの安全性と有効性を確保します。
- Check 2 オーダーメイドのぬくもり**
処方された薬を、どうしたら負担なく間違いなく飲んでいただけるか、医師の了承のもと服用時点毎に1回分ずつパックしたり、飲みやすいよう錠剤をすりつぶしたり、カプセルを外したりと、オーダーメイドの温もりが大切です。
- Check 3 医師への情報発信**
院外処方では医師と薬剤師との意思の疎通がとても大切になります。調剤薬局ではチーム医療の担い手として、お客様との会話から得られた情報を、積極的に医師に発信する姿勢が求められます。
- Check 4 介護・衛生用品の供給**
高齢化社会に対応した在宅医療では、介護・衛生用品が欠かせません。調剤薬局には使用者の細かいニーズに合った介護・衛生用品の供給が求められています。
- Check 5 コミュニティファーマシー**
病院におけるサービスの対象は患者さんに限られませんが、調剤薬局の場合は地域社会に住む方々全員がサービスの対象となります。したがって調剤薬局はコミュニティファーマシーとして、地域の方々一人ひとりの健康管理をはじめ、健康増進や疾病予防に関する情報やアイデアの提供、また必要に応じて医療機関への受診を勧めることなどが求められます。軽い病気がタイミングを逃せば悪くなってしまう。調剤薬局はそのタイミングを常にチェックし、地域の方々のより豊かで健康な生活をサポートする重要な役割を担っているのです。





コンサルタント・マネージメント事業



タカサキがめざしているのは、新しい時代に求められる調剤薬局の姿。地域の人々へ受け入れられる付加価値の高いビジネスを展開することです。従来の薬局のあり方から進歩したタカサキの夢と確固たる経営基盤、そして永年にわたり培ってきた独自のシステムとノウハウが次代のビジネスシーンでの活躍をバックアップします。

研修システム

タカサキが見つめる「人」はお客様のみにとどまりません。店舗というハードウェアだけでなく、社員というソフトウェアに着目し、人材育成にも積極的に投資しています。社会人としてのスタートは外部講師を招いての接遇研修から。その後は社内で毎月実施する“テーマ別勉強会”、行政・製薬会社が主催する“薬剤師講習会”など研鑽の場が用意されています。また、国内・海外研修制度を取り入れ、本部機能と店舗を中心とした各セクションの機能の充実やe-ラーニング環境化促進などを図る中で、一人ひとりの個性や適性を的確に評価し、伸び伸びとその良さを活かし、発揮できる環境づくりを行っています。さらに、希望者には店舗間での異動やメーカーと交流できる勉強会など、本で読んだり聞いただけの知識ではないスキルを身につけることもできます。



毎月行われる勉強会



接遇研修

福利厚生

タカサキの社員はみな、ワークライフバランスを調整し、オフも充実した時間を過ごしています。社員同士でゴルフに行ったり、ボウリング大会や食事会などの社内行事も数多くあり、普段からのコミュニケーションが、仕事での良いチームワークを生み出す秘訣となっています。産休・育休制度も充実しているので、女性の方にとっても安心して長く働ける環境が整っています。



北九州地区



タカサキ 上津役店
〒807-0073 北九州市八幡西区町上津役東2-4-7
TEL.FAX.093-613-1824



タカサキ 黒崎店
〒806-0023 北九州市八幡西区八千代町12-7
TEL.FAX.093-621-4055



タカサキ 幸神店
〒806-0055 北九州市八幡西区幸神2-1-21
TEL.FAX.093-642-3339



タカサキ 町上津役店
〒807-0074 北九州市八幡西区町上津役西3-2-14
TEL.FAX.093-611-5226



タカサキ 高須店
〒808-0144 北九州市若松区高須東3-13-7
TEL.FAX.093-742-3232



タカサキ 青葉台店
〒808-0142 北九州市若松区青葉台南2-17-12
TEL.093-742-0333 FAX.093-742-0348



タカサキ 海老津店
〒811-4236 遠賀郡岡垣町海老津駅前2-2-22
TEL.FAX.093-282-9779



タカサキ 産医大前店
〒807-0803 北九州市八幡西区千代ヶ崎2-2-16
TEL.093-693-1799 FAX.093-693-1798



タカサキ 社ノ木店
〒800-0054 北九州市門司区社ノ木1-1-14
TEL.FAX.093-381-2036



タカサキ 企救丘店
〒802-0981 北九州市小倉南区企救丘3-17-3
TEL.093-964-1600 FAX.093-964-1686



タカサキ 年金前店
〒806-0033 北九州市八幡西区岡田町12-29
TEL.093-621-6696 FAX.093-621-6699



タカサキ 遠賀店
〒811-4303 遠賀郡遠賀町今古賀610-4
TEL.FAX.093-293-9911



タカサキ 竹末店
〒806-0045 北九州市八幡西区竹末2-2-2
TEL.FAX.093-622-5001



タカサキ 築上店
〒829-0343 築上郡築上町西八田2425-1
TEL.FAX.0930-56-1001



タカサキ 沖台店
〒804-0064 北九州市戸畑区沖台1-6-38
TEL.FAX.093-881-1231



タカサキ 本城店
〒807-0815 北九州市八幡西区本城東1-10-14
TEL.FAX.093-602-8511



K.C.P 北方店
〒802-0841 北九州市小倉南区北方1-6-12
TEL.FAX.093-921-0095



K.C.P 沼店
〒800-0218 北九州市小倉南区沼新町1-2-8
TEL.FAX.093-473-9089



K.C.P 豊前店
〒828-0021 豊前市大字八屋1309-1
TEL.FAX.0979-83-1305



K.C.P 棚田店
〒808-0042 北九州市若松区棚田町10-30
TEL.FAX.093-752-1313



M.T.P 吉田店
〒800-0204 北九州市小倉南区中吉田6-1-19
TEL.093-475-5537 FAX.093-475-5793



M.T.P 浅川店
〒807-0872 北九州市八幡西区浅川2-15-16
TEL.FAX.093-601-5051



M.T.P 中央店
〒808-0146 北九州市若松区高須西1-2-33-101
TEL.FAX.093-742-1500



F.C.P 岡垣店
〒811-4233 遠賀郡岡垣町野間2-7-7
TEL.FAX.093-283-1222

福岡地区



タカサキ 志免店
〒811-2207 糟屋郡志免町大字南里字アカ子29-1
TEL.092-935-8385 FAX.092-935-8386



タカサキ 春日店
〒816-0844 春日市上白水5-22-2
TEL.FAX.092-586-9901

筑豊地区



タカサキ 穂波店
〒820-0088 飯塚市井分611-3
TEL.0948-21-7555 FAX.0948-21-7556



タカサキ 田川店
〒802-0005 田川市大字鶴1700-150
TEL.0947-23-1161 FAX.0947-23-1171



F.C.P 池尻店
〒827-0002 福岡県田川郡川崎町池尻195
TEL.0947-49-2626

山口・高根地区



タカサキ 上新地店
〒750-0061 山口県下関市上新地町3-4-29
TEL.083-228-3880 FAX.083-228-3881



M.T.P 長府店
〒752-0952 山口県下関市長府江下町5-8
TEL.083-245-6567 FAX.083-245-9089



F.C.P みかわ店
〒697-1331 鳥根県浜田市内村町772-2
TEL.0855-24-7533 FAX.0855-24-7538



F.C.P 周布店
〒697-1326 鳥根県浜田市治和町1111-5
TEL.0855-24-7715 FAX.0855-24-7716

熊本・大分地区



タカサキ 益城店
〒861-2241 熊本県上益城郡益城町宮園732-1
TEL.FAX.096-289-0418



M.T.P 佐伯店
〒876-0037 大分県佐伯市長谷7728-1
TEL.FAX.0972-22-8556



M.T.P 別府店
〒874-0919 大分県別府市石垣東3-1-35
TEL.0977-76-9100



F.C.P 日出店
〒879-1506 大分県遠見郡日出町3902-7
TEL.FAX.0977-72-1158

【タカサキのあゆみ】

1979年 5月 有限会社 タカサキ 設立
1986年12月 三愛薬局 開局
(1995年11月にタカサキ薬局 上津役店に名称変更)
1988年12月 タカサキ薬局 黒崎店開局
1990年 3月 三愛薬局 幸神店開局
(1995年11月にタカサキ薬局 幸神店に名称変更)
1992年 8月 タカサキ薬局 町上津役店開局
1993年12月 タカサキ薬局 高須店開局
1994年 7月 タカサキ薬局 青葉台店開局
1997年 4月 有限会社 タカサキを株式会社 タカサキに組織変更し設立
1997年 8月 タカサキ薬局 海老津店開局
2000年 7月 タカサキ薬局 産医大前店開局
2001年 8月 タカサキ薬局 社ノ木店開局
2002年 9月 タカサキ薬局 徳波店開局
2003年 1月 タカサキ薬局 企救丘店開局
2003年 2月 タカサキ薬局 上新地店開局
2003年 6月 タカサキ薬局 年金前店開局
2003年 6月 タカサキ薬局 益城店開局
2003年 8月 タカサキ薬局 遠賀店開局
2003年 9月 タカサキ薬局 竹末店開局
2005年 9月 タカサキ薬局 築上店開局
2006年 9月 タカサキ薬局 沖台店開局
2007年 7月 タカサキ薬局 志免店開局
2008年 5月 タカサキ薬局 田川店開局
2009年 9月 タカサキ薬局 春日店開局
2017年10月 タカサキ薬局 本城店開局

【タカサキグループのあゆみ】

(株)九州クリニカルファーマシー【(株)K・C・P】
1989年11月 有限会社 九州クリニカルファーマシー 設立
1990年 1月 小倉セントラル薬局 北方店開局
2002年 7月 小倉セントラル薬局 沼店開局
2010年 1月 小倉セントラル薬局 豊前店開局
2012年11月 タカサキ薬局 棚田店開局

(株)エム・ティ・プランニング【(株)M・T・P】
1994年 5月 有限会社 エム・ティ・プランニング 設立
1999年 8月 タカサキ薬局 吉田店開局
2001年 2月 タカサキ薬局 浅川店開局
2002年 7月 タカサキ薬局 長府店開局
2002年 9月 タカサキ薬局 佐伯店開局
2015年 4月 タカサキ薬局 別府店開局
2017年 1月 タカサキ薬局 中央店開局

(株)フクオカ・クリニカル・ファーマシー【(株)F・C・P】
1997年 8月 有限会社 フクオカ・クリニカル・ファーマシー 設立
2003年 1月 みかわ調剤薬局 開局
2003年 4月 タカサキ薬局 周布店開局
2003年12月 タカサキ薬局 日出店開局
2009年 6月 タカサキ薬局 岡垣店開局
2013年11月 タカサキ薬局 池尻店開局

※2014年12月1日、(有)K・C・P、(有)M・T・P、(有)F・C・Pを株式会社へ商号変更

株式会社 タカサキ

〒807-0815 北九州市八幡西区本城東2-4-1

【TEL】093-602-8533

【URL】<http://www.takasaki-pharm.co.jp>

設立 1979年

資本金 (株)タカサキ 8,980万円

(株)九州クリニカルファーマシー【(株)K・C・P】 4,960万円

(株)エム・ティ・プランニング【(株)M・T・P】 4,990万円

(株)フクオカ・クリニカル・ファーマシー【(株)F・C・P】 5,000万円

グループ合計 2億3,930万円